

授業科目 アスレティックトレーナー論

【担当教員名】 柵木 聖也	対象学年	1	対象学科	スポ	
	開講時期	前期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。					
【学習目標】 1. 日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレティックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけについて学ぶ。 2. 諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容について学ぶ。 3. 我が国におけるアスレティックトレーナーの担うべき任務とその役割について学ぶ。 4. 他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性について学ぶ。 5. スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理について学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックトレーナーとは（1）日体協における養成事業の概要				
2	アスレティックトレーナーとは（2）我が国のアスレティックトレーナーの歴史的背景				
3	アスレティックトレーナーとは（3）トレーナーの起源と諸外国の実情との比較				
4	アスレティックトレーナーの業務（1）アスレティックトレーナーの任務、役割				
5	アスレティックトレーナーの業務（2）アスレティックトレーナーの具体的業務内容				
6	チームスタッフとの連携・協力（1）サポートチームにおけるメディカルスタッフ				
7	チームスタッフとの連携・協力（2）コーチ、ドクターの役割とその連携・協力				
8	チームスタッフとの連携・協力（3）その他のチームスタッフとの連携・協力				
9	組織運営と管理（1）スポーツ組織全体に対する理解				
10	組織運営と管理（2）アスレティックトレーナーの組織・体制づくりとその運営				
11	組織運営と管理（3）記録およびデータ採取の必要性とその方法				
12	アスレティックトレーナーと倫理（1）社会全体を支える秩序				
13	アスレティックトレーナーと倫理（2）アスレティックトレーナーの社会的立場と貢献				
14	アスレティックトレーナーと倫理（3）アスレティックトレーナーに求められる倫理観				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専 門科目テキスト1	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート課題にて評価する。			【履修上の留意点】		